

一般社団法人日本水道工業団体連合会 平成27年度 会務及び事業報告

平成27年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している連合会会員は、その技術開発、生産活動を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。連合会では、会員のこうした活動がやりやすい環境整備を目的に下記の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

当連合会では、平成28年度政府予算の編成にあわせ、上下水道・工業用水道の事業量確保に向けた一連の要望活動等を行った。

(1) 平成27年8月3日、各省庁の概算要求時に照準をあわせ、副会長を中心に総勢24名に及び要望団を編成し、厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省に、それぞれ上下水道並びに工業用水道の各事業量の確保に向けた要望活動を行った。

(2) 平成27年11月26日、政府予算の財務省原案内示前に正副会長を中心とした要望団を編成して予算要望とともに水道産業界への支援を要請した。

要望団は、総勢26名で厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省の各省の上下水道並びに工業用水道の担当部課長へ直接要望書を手渡すとともに、要望内容について意見交換を行った。

更に各種水道関係に携わる衆参両議院議員88名に提言書を持参し、上下水道・工業用水道の事業量の確保等について強く訴えた。

(3) その他

①-1 水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

平成27年5月11日、水団連加盟団体から要望があった内外面塗装歩掛表、GX形管施工時の掘削幅及び日当たり作業量関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

①-2 厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 平成27年6月16日(木)午後1時30分

場 所 厚生労働省17階専用第21会議室

内 容 ①-1についての詳細説明

出席者 日本水道鋼管協会、全国管工事業協同組合連合会関係者5名

② (公社)日本下水道協会平成27年度下水道意見交換会議への参加

日 時 平成28年1月22日(金)午後3時30分
場 所 日本下水道協会大会議室
テーマ 1 下水道関連法の改正・施行にあたって
2 各団体から出された意見について
出席者 会員7名

2 関係団体行事への協賛

平成27年度事業計画に基づき、日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国簡易水道協議会及び全国水道企業団協議会の各総会及び地方支部総会に対して協賛を行なうとともに水道産業界への支援を要請した。

特に、水道展を併催する日本水道協会平成27年度全国会議には、協賛を行なうとともに開催都市であるさいたま市に対し水道展への協力を要請した。

3 広報宣伝事業の実施

(1) さいたま水道展の実施

日本水道協会平成27年度全国会議に併催して、水道展を開催し、会員の最新技術及び新規開発製品等を来場者に披露するとともに会員のカタログ展示を行った。

集客対策として産経新聞10月9日号(東京23区・南関東版)に告知広告を掲載する他、開催案内チラシ及びポスターを作製し、開催市であるさいたま市の協力のもと、近隣の事業体職員などに会場を周知した。また、来場者の利便を図るため、リーフレットを作成し、ブース配置図を業種別に着色するなど、案内を分かりやすくした。

【第49回 さいたま水道展概要】

日 時 平成27年10月21日(水)～22日(木)
場 所 さいたまスーパーアリーナ(コミュニティアリーナ)
概 要 1) 出展会員数 113会員
ブース数 96
展示面積 3,726㎡
2) 来場者数 5,900名
3) 来場者への記念品 「熊野筆」
4) カタログ展示
展示会員数 39会員
カタログ数 65部
申込部数 394部(35名)

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに次の広告を掲載した。

□ 広告掲載誌 業界新聞 37回
業界誌 8回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年4回(1月、4月、7月、10月)発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水件数、下水道は処理量、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回2,000部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業体を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を提供し、これら来訪者の利便を図っている。なお、平成27年度の展示状況は以下のとおり。

平成27年度の展示状況	□展示会員数	44会員
	□展示ポスト数	49ポスト

5 講演会等の開催

(1) 日 時 平成27年4月14日(火)午前9時20分

場 所 日本水道会館7階会議室

テーマ 平成27年度上水道関係事業体予算を聞く会

①「東京都水道局平成27年度予算の概要」

東京都水道局総務部主計課課長代理(予算担当) 猪俣 幹氏

②「平成27年度当初予算」

北千葉広域水道企業団総務部副参事 伊能 徹雄氏

③「平成27年度予算の概要」

神奈川県内広域水道企業団財務課副課長 佐藤 弘氏

④「平成27年度水道局予算概要」

横浜市水道局経営部経理課長 山田 源太氏

出席者 80名

(2) 日 時 平成27年6月16日午後1時30分

場 所 日本水道会館7階会議室

テーマ 「人口減少社会へ向けた上水道システムの再構築と浄水処理の高機能化」

講 師 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻教授・博士(工学) 伊藤 禎彦氏

テーマ 「災害等非常時における水道水等の飲料水の安全性に向けて」

講 師 セントラル科学株式会社代表取締役社長 菊地 知男氏

出席者 75名

- (3) 日 時 平成28年2月3日(水)午前10時
 場 所 アルカディア市ヶ谷5階「穂高(東)」
 テーマ 平成28年度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
 「水道関係予算案」
 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課
 課長補佐 小柳 隆一氏
 「工業用水関連予算案」
 経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ産業施設課
 企画一係長 大光 伸二氏
 「下水道事業予算案」
 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
 事業係長 武田 正太郎氏
 出席者 65名
- (4) 日 時 平成28年2月24日(水)午後3時
 場 所 日本水道会館7階会議室
 テーマ 「水道耐震化推進7°のI外を振り返って」
 公益社団法人日本水道協会調査部調査課係長 久保 利幸氏
 出席者 47名

6 施設見学会の実施

第32回 施設見学会

期 日 平成28年2月22日(月)

見学先 千葉県西部防災センター・首都圏外郭放水路

参加者 30名

7 上水道基礎専門研修

若手社員が企業側の視点で官需に係わる基礎的業務内容を習熟し、今後の営業・技術・開発等に活用されることを目的に入社後1～2年程度経過した社員を主対象に以下の日程等により上水道基礎専門研修を実施した。

開催期間 平成27年7月13日(月)～14日(火)[2日間]

開催場所 日本水道会館7階第1会議室他

受講者 76名

カリキュラム・講師 等

水道事業の概要 厚生労働省健康局水道課課長補佐 松田 尚之氏

水道事業の経営① 東京都水道局総務部主計課統括課長補佐 坂下 典久氏

水道事業の経営② 東京都水道局経理部契約課統括課長補佐 佐多 健一郎氏

水道技術の基礎 (公社)日本水道協会工務部規格課長 若林 武夫氏

施設見学 金町浄水場

8 調査事業

(1) 水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今後の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書を会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省や国土交通省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連ホームページを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

(1) 会長表彰(昨年通常総会において表彰)

- 感謝状(30年)2会員、(20年)5会員、(10年)7会員
- 表彰状(役員10年)2氏、(委員10年)1氏

(2) 厚生労働大臣表彰

- ① 水道関係功労(平成27年11月24日) 1氏

11 海外協力事業

(1) 第48回 国際協力機構(JICA)上水道研修コースへの協力

期 間 平成27年6月15日(月)～8月19日(水)[約2か月]

研修場所 [講義(日本水道協会)]日本水道会館会議室ほか
[工場見学]会員施設

研修国 アジア・アフリカの8か国

研修人員 10名

※研修終了日(8月19日)に、アルカディア市ヶ谷6階「阿蘇東の間」において、関係者60名が出席し歓送会を開催して交流を深めた。研修生には当連合会から研修アルバムを贈呈した。

(2) ISO/TC224(国際標準化機構技術委員会)への協力

ISO/TC224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。

また、ISO/TC224ワーキングへも出席し、27年度は2回開催された。

4月 ISO/TC224 第10回総会 オーストリア共和国・ウィーン市

10月 ISO/TC224 WG7及びWG9 カナダ国・ハリファックス市

(3) 第6回IWA-ASPIRE(国際水協会・アジア太平洋地域)会議・展示会に出展

国際水協会の第6回アジア・太平洋地域会議(ASPIRE)が9月20～24日の5日間、中

華人民共和国北京市の北京国際会場において「持続的な水環境と水利用」をテーマに開催され、37の国と地域から約1,000人が参加した。水団連では、展示会内に設置されたジャパンパビリオンにおいてパネル展示を行うなどの情報発信を行った。

- (4) 2018国際水協会(IWA)世界会議・展示会開催国委員会及び協賛推進専門部会へ参画
2018年に国際水協会(IWA)世界会議が東京都で開催されることが決定した。会議の開催準備及び円滑な会議運営を図るため、会長に舛添要一東京都知事、委員長に古米弘明日本水環境学会会長が務める開催国委員会が平成27年9月に設立され、また下部組織として協賛推進専門部会が設置されることとなった。この委員会及び専門部会に当連合会も参加し協力することとなった。

12 新年名刺交換会の開催

恒例の新年名刺交換会は、日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会の共催により以下の3地区で開催した。

(1) 東京地区

平成28年1月6日(水)午後3時から西新宿のヒルトン東京4階「菊の間」において開催した。

会場には、衆議院議員、参議院議員並びに関係省庁、事業体ほか会員計約900名の出席があった。主催5団体を代表して会長挨拶のあと各界との交流を深めた。

(2) 名古屋地区

平成28年1月7日(木)午前11時から名古屋市中村区の名鉄キューランドビル7階「扇の間」において、中部ウォータークラブ、全国上下水道コンサルタント協会中部支部及び5団体共催により開催し、副会長等による挨拶のあと交流を行った。出席者:約300名

(3) 大阪地区

平成28年1月7日(木)午後3時から大阪府中央区のシティプラザ大阪2階「旬の間」において、関西ウォータークラブ及び5団体共催により開催し、副会長等による挨拶のあと交流を行った。出席者:約500名

13 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第57回 水道週間

期 間 平成27年6月1日(月)～7日(日)
主 催 厚生労働省、都道府県ほか
スロガソ 「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」

(2) 第39回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

期 日 平成27年8月1日(土)[期間8/1(土)～8/7(金)]

場 所 国際連合大学 ウ・タント国際会議場
主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) その他の協賛等

① 健康のため水を飲もう運動

目 的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」
主 催 健康のため水を飲もう推進委員会(委員長＝武藤芳照東京大学大学院教授)
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

② 第57回「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 平成27年6月1日(月)～9月10日(木)
題 材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設または工事風景
主 催 (株)水道産業新聞社
後 援 本連合会ほか
特別賞 (-社)日本水道工業団体連合会会長賞

③ 日本発！くらしを支える底力「下水道展'15 東京」

期 間 平成27年7月28日(火)～31日(金)[4日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (公社)日本下水道協会
後 援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか
協 賛 本連合会ほか

④ 第10回 再生可能エネルギー世界展示会

期 間 平成27年7月29日(水)～31日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 再生可能エネルギー協議会(代表＝黒川浩助東京工業大学先進エネルギー国際研究センター特任教授)
後 援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか
協 賛 本連合会ほか

⑤ 埼玉県水道キャンペーン

期 間 平成27年8月8日(土)～9日(日)[2日間]
場 所 JRさいたま新都心駅コンコース
主 催 埼玉県水道キャンペーン実行委員会(埼玉県、さいたま市他)
協 賛 本連合会ほか

⑥ 第7回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」

期 間 平成27年8月27日(木)～28日(金)[2日間]
場 所 横浜国立大学理工学部C講義棟
主 催 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会(委員長＝清塚雅彦横浜市水道局水道技術管理者給水部長)
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑦ エコテクノ2015(地球環境ソリューション展&I初級-先端技術展)

期 間 平成27年10月7日(水)～9日(金)[3日間]
場 所 北九州市・西日本総合展示場新館他
主 催 北九州市、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会
後 援 国土交通省、環境省、経済産業省九州経済産業局、本連合会ほか

⑧ い～い井戸の日 2015 in 北海道

期 日 平成27年10月9日(金)
場 所 京王プラザホテル札幌2階「ホワイエ」
主 催 (一社)全国さく井協会
後 援 国土交通省
協 賛 本連合会ほか

⑨ Japan Home and Building Show 2015

期 間 平成27年11月18日(水)～20日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (一社)日本能率協会
後 援 経済産業省、国土交通省、本連合会ほか

⑩ 浄水技術研究会第15回講演会

期 日 平成27年12月4日(金)
場 所 自動車会館会議室
主 催 浄水技術研究会(会長＝森田豊治氏)
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑪ 2016年度ミス日本「水の天使」

選考日 平成28年1月25日(月)
役 割 生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力と、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える
主 催 ミス日本コンテスト事務局
協 賛 本連合会ほか
受賞者 立教大学経営学部3年須藤櫻子さん(東京都出身21歳)

⑫ InterAqua 2016 第7回国際水ソリューション総合展

期 間 平成28年1月27日(水)～29日(金) [3日間]

場 所 東京ビッグサイト

主 催 (株)ICSコンベンションデザイン

後 援 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公)日本水道協会、本連合会ほか

⑬ 2016 JDA Forum

期 日 平成28年1月28日(木)

場 所 東京ビッグサイト

主 催 日本脱塩協会

後 援 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公)日本水道協会、本連合会ほか

14 協議会等への所属状況

- (1) 国際厚生事業団
- (2) (特非)日本水フォーラム

15 事務局として関わる組織

- (1) 水友会
- (2) 関東全水道人囲碁同好会

16 水団連ホームページによる情報発信

水団連ホームページでは、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知を図っている。

17 新水道ビジョン推進協議会への協力

平成25年8月、新水道ビジョンに示された各種方策を推進するため、その実施主体となる関係者が実施状況を共有し、密接に連携するための枠組みとして「新水道ビジョン推進協議会」が設置された。平成28年3月23日に開催された第4回新水道ビジョン推進協議会には本連合会からも出席し、先進的な事例・情報等を参考としつつ、その解決に資する協力体制や解決策を検討した。

18 水道事業の維持・向上に関する専門委員会への参加

厚生労働省では、今後の水道事業の基盤強化に向けた対応策等に係る専門的事項について検討することを目的として、厚生科学審議会生活環境水道部会に「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」が設置された。

水団連では平成28年3月7日に水団連会員による意見交換会を開催して意見集約を図るとともに、3月22日に開催された第1回の専門委員会に本連合会からも専門委員として参加した。

19 生産性向上設備等のうち先端設備（A類型）に係る仕様等証明書発行業務の実施

平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づく、生産性向上設備等のうち先端設備（A類型）に係る仕様等証明書の発行について、平成27年度も引き続き実施した。

※ 平成27年度の証明書発行件数 10件

なお、本件にかかる発行業務については、税制措置期間である平成26年1月20日から平成29年3月31日までとなっている。

20 水団連創立50周年記念行事の検討

本連合会の創立50周年記念事業について、創立50周年記念誌等検討委員会において事業内容や実施方法について検討を行った。

結論としては、平成28年通常総会時に記念式典を開催し、記念式典では関係団体等への感謝状贈呈、記念講演会を行うこととし、併せて記念誌を発行することになった。